

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	必修
担当教員			
安本 雅子			
木3、木4			
添付ファイル			

科目の概要	幼稚園教諭、保育士、小学校教諭に欠かせない音楽の基礎を、実技を伴って指導助言する。
授業の内容	<p>第1回 オリエンテーション：授業と楽器の説明 今後展開する音楽系授業に向けた音楽の基礎知識を学ぶ。学園歌</p> <p>第2回 音の高低に関すること① 音名を知る。ハーモニーについて、伴奏とコードの関係を知る。</p> <p>第3回 音の高低に関すること② 各種音名とオクターブごとの音名を覚える。</p> <p>第4回 歌の発表 指示した課題を一人で歌えるようにしておく</p> <p>第5回 音の長短と拍子に関すること① 音符の名称と長さを覚える。</p> <p>第6回 音の長短と拍子に関すること② 拍子の仕組みを理解する。</p> <p>第7回 音の長短と拍子に関すること③ 楽譜からリズムを読み取る。</p> <p>第8回 音の長短と拍子に関すること④ リズム譜に慣れる。</p> <p>第9回 音の長短と拍子に関すること⑤ 様々なリズムパターンに慣れる。</p> <p>第10回 ペーパーテスト：既習の楽典について理解しておく。 調に関すること：調と音階を知る。</p> <p>第11回 調に関すること 移動ドと固定ドを理解する。</p> <p>第12回 調に関すること 主な調に慣れる。</p> <p>第13回 音楽用語・記号 楽譜上の用語や記号を知る。</p> <p>第14回 子どもの歌の弾き歌い① 課題曲を前もって自分なりに完成させておく。個人指導。</p> <p>第15回 子どもの歌の弾き歌い② 人前での発表に向けて豊かな表現を目指す。個人指導</p> <p>定期試験</p>
学習到達目標	<p>基礎的な読譜能力を身に付ける。 子どもの歌を正しい音程、リズムで歌える。 メロディーをピアノで弾きながら歌える。</p>
授業の方法	<p>【授業形態】実技。 ML（ミュージック・ラボラトリー）教室にて、楽典（楽譜を読み書きするための音楽理論）を学びながら、実際に電子ピアノを弾き、歌う。ヘッドホンとマイクを通じて相互に、または人前での演奏により適宜修得度を確認する。</p>
成績評価の方法	定期試験60%、授業中のペーパーテスト30%、平常点10%
教科書・テキスト	<p>「最新・幼児の音楽教育」朝日出版社 「ミュージック・ファイル」大阪青山大学</p>
参考書	「やさしく学べるピアノ100」音楽の友社
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	<p>楽譜の知識は積み重ねるので、毎回必ず復習して理解しておいてください。 ピアノや歌は、毎日反復練習してください。 本館3・4階、1号館5階のピアノ練習室を利用することができます。</p>
履修上の留意事項	爪を切り、マニキュアはしないでください。

オフィスアワー	授業の前後に相談してください。
担当教員への連絡方法	授業の前後にお尋ねください。または、教務課にお問い合わせください。
その他	毎回ソルフェージュ（楽譜を読んで音に表す練習）と、子どもの歌を学修する。